

多重債務問題に関する 全銀協の取組みについて

2022年12月20日

松本 康幸

一般社団法人全国銀行協会 理事



一般社団法人

全国銀行協会

〈目次〉

1. 銀行カードローン残高の推移	p.2
2. カードローン専用相談窓口における相談等受付状況	p.3
3. 多重債務防止啓発に関する取組み	p.4
4. 成年年齢引下げに関する取組み	p.6
5. 金融経済教育に関する取組み	p.9

1. 銀行カードローン残高の推移

- 「全国銀行預金・貸出金速報」(当協会 月次公表) にあわせて、2017年10月から銀行カードローン残高を公表。
- 2022年9月末の残高は「3兆5,260億円」。2021年9月末比2.7%減少。

【図1 業態別残高推移 (単位=億円)】

	2019年9月末	2020年9月末	2021年9月末	2022年9月末	前年同期比
全国銀行	42,432	38,636	36,241	35,260	△2.7%
都市銀行	23,031	21,012	19,597	19,048	△2.8%
地方銀行	16,012	14,616	13,971	13,671	△2.1%
地方銀行Ⅱ	3,387	3,007	2,672	2,539	△5.0%

※全国銀行：都市銀行5行（みずほ・三菱UFJ・三井住友・りそな・埼玉りそな）、地方銀行62行、地方銀行Ⅱ（第二地方銀行協会加盟の地方銀行）37行、信託銀行4行（三菱UFJ信託・みずほ信託・三井住友信託・野村信託）、新生銀行、あおぞら銀行の110行（2022年9月末時点）

2. カードローン専用相談窓口における相談等受付状況

- 多重債務抑制の観点から、カードローンに関する専用相談窓口を設置（2017年10月受付開始）。
- 専用相談窓口においては、消費生活相談員などの資格を保有する相談員や、専門のカウンセラーが返済方法のアドバイス等に対応。2022年度の10月末時点の受付相談等件数は「62件」。

【図2 カードローン専用相談窓口 受付相談等件数の推移】

分類※1	2017年度※2	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度※2
返済困難	13	35	24	41	22	16
貸付自粛	4	6	3	0	2	1
情報開示	3	6	4	5	3	8
その他	21	43	40	28	47	37
合計	41	90	71	74	74	62

※1 上記分類は本資料において相談受付内容を説明するために分類したもの。

※2 2017年度はカードローン専用相談窓口を設置した2017年10月19日以降の件数。2022年度は10月末までの件数。

3. 多重債務防止啓発に関する取組み（1/2）

- ギャンブル等依存症対策基本法にもとづく「ギャンブル等依存症問題啓発週間（毎年5月14日～20日）」にあわせて、「お金を借りてギャンブルにのめり込むこと」の防止啓発や貸付自粛制度の周知を実施。
- 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、啓発動画を民放キャッチアップ配信サービス（放送終了後のテレビ番組をインターネットで視聴できるサービス）等に配信（5月14日～31日）。

【図3 ギャンブル等依存症問題啓発週間等に配信した啓発・周知動画イメージ】



※ YouTubeの当協会公式チャンネルにおいても配信 <https://www.youtube.com/c/zenginkyoo-movie>

3. 多重債務防止啓発に関する取組み（2/2）

- ローン・クレジットを正しく利用していただくための啓発・広報として、「消費者信用関係団体」（日本クレジット協会、日本貸金業協会、全国銀行協会）による共同キャンペーンにあわせて電車内広告を掲出（11月）。

【図4 共同キャンペーンにおける全銀協の取組み内容】

〔電車内ステッカー〕



〔啓発動画〕



実施内容

- | | |
|----------|--|
| 電車内ステッカー | ➤ 全国の主要鉄道路線（東京・大阪・名古屋・札幌・福岡・仙台・広島）で電車内ステッカー広告を実施（11月）。 |
| 動画配信 | ➤ 当協会ウェブサイトやYouTubeの当協会公式チャンネルにおいて啓発動画を配信中。 |

4. 成年年齢引下げに関する取組み（1/3）

- 当協会は、2017年3月16日、「銀行による消費者向け貸付けに係る申し合わせ」を実施。
- 加えて、2022年2月17日、同年4月の成年年齢引下げを踏まえ、若年者（18・19歳の方）が過大な債務を負うことがないよう、配慮に欠けた広告・宣伝の抑制、審査態勢等の整備に関する「成年年齢引下げを踏まえた銀行による消費者向け貸付けに係る申し合わせ」を決定し、同日公表。

【図5 「成年年齢引下げを踏まえた銀行による消費者向け貸付けに係る申し合わせ」の主な内容】

※ 全銀協ウェブサイトURL <https://www.zenginkyo.or.jp/news/2022/n021702/>

項目	主な内容
1. 配慮に欠けた広告・宣伝の抑制	<ul style="list-style-type: none"> ● ことさら若年者を対象にした広告・宣伝を行わないよう努める。 ● 特に、今般の成年年齢の引下げにより親権者の同意なしに銀行カードローンを利用できることなることを強調するなど、配慮に欠けた表示等を行わないよう努める。 ● 広告・宣伝においては、引き続き、お客さまの過剰な借り入れに対して注意喚起を行っていく等、多重債務の発生抑制にも努める。
2. 健全な消費者金融市場の形成に向けた審査態勢等の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 貸付け額にかかわらず、収入の状況を示す書類により、収入状況や返済能力を正確に把握することに努める。若年者は一般的に収入が少ない、あるいは不安定である場合も多いと考えられることから、貸金業法における総量規制（年収に対する借入れ額の比率を1/3以内に制限する規制）をより意識した審査態勢等を構築し、厳格に運用するよう努める。 ● 資金用途を確認するとともに、名義の貸借やマルチ商法等にかかわっていないか等の注意喚起を行い、不自然な点が見受けられる場合には、若年者本人へのヒアリングを実施するなど、慎重な対応を行うよう努める。

4. 成年年齢引下げに関する取組み（2/3）

- 成人になって変わることや注意点、お金との上手な付き合い方をわかりやすくまとめた特設サイト「成年年齢引下げとお金のだいじな話」を公開（2022年3月）。
- 若年者に知っておいてほしい基礎知識として「18歳になって変わることと注意点」を説明したうえで、一人の大人としてこれからの人生を歩むために知っておきたい事項として、「銀行口座の活用法と銀行の選び方」「家計管理とライフイベント」「クレジットカードとローン」「資産運用と将来への備え」について解説。
- それぞれに導入動画を掲載しているほか、学校での授業や講義等でもご活用いただける内容。

【図6 特設サイトと導入動画のイメージ】

※ 特設サイトURL <https://www.zenginkyo.or.jp/age-of-majority/>

※ 導入動画はYouTubeの当協会公式チャンネルにおいても配信中 <https://www.youtube.com/c/zenginkyo-movie>



5. 金融経済教育に関する取組み（1/4）

- 「家計管理」と「生活設計」に関するリテラシー向上を図ることを基本として、お金の基礎知識からローン・クレジットの利用方法・留意点など、幅広いテーマで金融経済教育の取組みを実施。
- 金融経済教育推進会議が開講したeラーニング講座「マネビタ～人生を豊かにするお金の知恵～」に「お金を借りる」をテーマとした講義動画を提供。

【どこでも出張講座】

- 中学校・高校等の学校向けを中心に、無償で講師を派遣（2003年～）。講義内容のテーマは申込者の希望を踏まえて対応。2022年度上期は非対面のオンライン講義を中心に「52件／3,801名」を対象に実施。

【図10 学校向け実施テーマ（一例）】

「生活設計・マネープランゲーム」

カードゲーム教材（次頁参照）を使用して、人生において「お金とどのように関わっていけばいいのか」を体験するアクティブラーニング型の講座。

※ コロナ影響によりアクティブラーニング型講座への講師派遣は見合わせ中。

「社会に出て気をつけたいお金のこと」

これから社会に出るに当たって気をつけたいお金の基礎知識、お金と賢く付き合う方法を学ぶ。

（内容）家計管理、三大資金、金融サービス、クレジットカード、多重債務、金融トラブル等

「ローン・クレジットのしくみとお金の使い方」

ローンとクレジットの利用方法と留意点を確認。目に見えないお金の仕組みを学ぶ。

（内容）家計管理、三大資金、ローン、クレジットカード、多重債務 等

「大学生活とお金のこと」

大学生活を過ごすに当たって、また今後社会に出るに当たって必要となる基礎的な金融知識を学ぶ。

（内容）家計管理、進学に係る費用、奨学金、三大資金、クレジットカード、多重債務、金融トラブル 等

【図11 eラーニング講座概要】



「マネビタの意味 マネーとビタミンを合わせた造語です。『身体にとって必要不可欠なビタミンを食物から摂り込むように、人生に必要な不可欠なお金の知恵をこの講座から摂り込んでほしい』という願いを込めています。」

※金融広報中央委員会ウェブサイトから抜粋
<https://www.shiruporuto.jp/public/document/container/e-learning/>

5. 金融経済教育に関する取組み (2/4)

〔教材制作・無償提供〕

- 学校教育等の現場で活用できる各種教材・動画等を制作し、無償で広く提供。社会科や家庭科、総合的な学習の時間等の学習カリキュラムと連携した内容とし、ゲームや映像を使って学べる体験型教材を拡充。

【図12 教材ラインアップ (一例)】

「生活設計・マネープランゲーム」 (対象：中学生～)

20歳以降の人生についてお金の面からシミュレーションするカードゲーム型の教材。

収入や生活費等、人生に必要なお金について学ぶとともに、計画性を持って生活する必要があることを体感する。



「シリーズ教材 お金のキホン」 (対象：高校生～)

高校生が学ぶ金融の知識について、学習指導要領の家庭科と公民科の内容のポイントをおさえた教材。生徒用テキストと併せて、テーマ別の授業プログラムを提供 (下記一例)。



授業プログラム「家計管理」

生活にかかわる基本的な経済感覚を身につけ、将来の生活像に関連付けて生活費をイメージできるよう「一人暮らし」のシミュレーションを通して収支のバランスを考える。



「はじめてのお金の時間」 (対象：中学生～)

「使う」「貯める」「借りる」の3つの視点で、収入や支出、貯蓄やローン・クレジットについて学ぶ教材。

学校で活用しやすくするため、グループワークやディスカッションを取り入れた授業プログラムを提供しており、テーマ別に短時間 (15分～) での活用も可能。



授業プログラム「ローン」

様々な体験談からローン利用時のポイント・留意点を学び、住宅等購入時の賢いローンの利用について具体的なケースを通して考える。



授業プログラム「多重債務」

ドラマ仕立ての動画資料を見て多重債務に陥る原因・プロセスを学び、多重債務の注意喚起ポスターを作成するワークを通じて学びを深める。



5. 金融経済教育に関する取組み (3/4)

〔その他若年層向け施策①〕

- 金融・経済や生活設計・家計管理等に関して幅広く学べる若年層向けのクイズアプリを提供。
- 若年層向け小冊子3種（「お金の話」「未来予想図」「お金の運用」）の配布。

【図13 若年層向け学習ツール（一例）】

〔若年層向けクイズアプリ〕



〔若年層向け小冊子3種〕



- ・お金の話…ローン・クレジットカードを含む金融商品等について説明。
- ・未来予想図…人生の三大資金等、ライフプランについて説明。
- ・お金の運用…資産運用のポイントについて説明。

5. 金融経済教育に関する取組み（4/4）

〔その他若年層向け施策②〕

- 金融リテラシー向上の観点から、2021年度に引き続き、全銀協ウェブサイトにて期間限定の特設サイトを設置予定（2023年2月～）。
- 2022年度は、リアル脱出ゲーム（株式会社SCRAP）とコラボレーションのうえ、家計管理と資産形成について、基礎的な知識を学びながら、謎解きで自身の習熟度合いを試せるようなオンラインコンテンツを提供予定。

